

論文問題冊子

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 試験時間は、2題で90分です。試験問題1～7のうち、2題を選択してください。
3. 会計学の指導教員を志望する場合は、問題6、7(会計学分野)の中から1題は選択してください。
4. 試験問題についての質問は、受けつけません。
5. 試験開始後ただちに解答用紙の中の受験番号記入欄に受験番号と、問題番号記入欄に問題番号を誤記のないように記入してください(氏名は記入しないでください)。
6. 解答用紙1枚につき、1題解答してください。1枚の解答用紙に複数の問題を解答した場合、無効になります。また、解答用紙には裏面もありますが、1題につき、解答用紙1枚で収めるようにしてください。
7. 解答は、日本語で行ってください。
8. 問題冊子・解答用紙に汚損等がある場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。

平成 31 年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 経営学 問題番号 1

1980 年代以降、経営学において合併は研究対象として注目されるようになった。合併について以下の問いに答えなさい。

- (1) 合併の定義を書きなさい。
- (2) 実務面において合併が果たす役割に言及しつつ、1980 年代以降、合併が注目されるようになった理由を説明しなさい。
- (3) 日本でよく知られている合併の事例を 1 つ選び、合併を説明するためによく使われている経営学の理論を用いて分析しなさい。

平成 31 年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 経営学 問題番号 2

「グリーンサプライチェーンマネジメント」に関して、以下の問いに解答しなさい。

1. 「グリーンサプライチェーンマネジメント」とは何か、その誕生の背景を含めて説明しなさい。
2. 企業はなぜ「グリーンサプライチェーンマネジメント」を推進する必要があるのか、説明しなさい。

平成 31 年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 経営学 問題番号 3

経営戦略論の様々な考え方の中で、対立する二つの代表的な考え方を挙げ、それぞれ説明しなさい。

平成 31 年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 経営システム

問題番号 4

以下の問いにすべて答えよ。

1. AHP (Analytic Hierarchy Process)の計算例を一つ挙げなさい。
2. 期待効用理論における完備性、推移性、独立性公理、連続性公理をそれぞれ説明しなさい。

平成 31 年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 経営システム

問題番号 5

以下の3問、すべてについて解答しなさい。

1. 以下の用語について、簡潔に説明しなさい。

- (1) 中心極限定理
- (2) 推定量の一致性
- (3) ベイズの定理

2. ある法案への賛否について調査を行い、有権者 1000 人から有効回答を得、520 人が賛成、480 人が反対であった。以下の問いに答えなさい。

- (1) 賛成者の標本比率(標本平均) $p=0.52$ が、母集団比率(母平均) π の最尤推定値となることを示しなさい。
- (2) 帰無仮説 $H_0: \pi < 0.5$ を、有意水準 5% で検定しなさい。
必要に応じて、以下の数値を用いなさい。
標準正規分布の両側 5% 点 1.960 片側(上側)5% 点 1.645
なお、具体的な計算過程も示すこと。

3. 変数 x, y について、40 個の観測値からなる標本 $\{x_1, x_2, \dots, x_{40}\}, \{y_1, y_2, \dots, y_{40}\}$ が与えられており、 x, y の標本分散・共分散行列が以下のものであった。

$$\begin{pmatrix} x \text{ の標本分散} & x, y \text{ の標本共分散} \\ & y \text{ の標本分散} \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 256 & 160 \\ & 400 \end{pmatrix}$$

- (1) 変数 x, y の相関係数の値を求めなさい。
- (2) 最小二乗法を用いて y を x に単純回帰したときの x の係数、決定係数、及び、自由度修正済み決定係数の値を小数第 4 位まで求めなさい。導出の過程も簡潔に示しなさい。

平成 31 年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 会計学 問題番号 6

管理会計の意思決定会計に関する以下の設問に答えなさい。

- (1)設備などの投資プロジェクト採否を決定するための資本予算の計算方法を列挙し、それぞれについて説明しなさい。
- (2)「貨幣の時間価値」を説明し、(1)で挙げたそれぞれの計算方法との関連を説明しなさい。

平成 31 年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 会計学 問題番号 7

以下の問いに答えなさい。

- (1) 現行の会計制度では、連結財務諸表上、純利益と包括利益の両方が開示されている。包括利益に含まれる一方、純利益には含まれない項目にはどのようなものがあるか。具体的な項目を答えるとともに、それが純利益に含まれない理由を説明しなさい。
- (2) 包括利益とは別に純利益が測定・開示される意義を、財務報告の目的にてらして説明しなさい。